平成 19 年 4 月 20 日

各　位

不動産投信発行者名
東京都港区六本木六丁目10番1号
六本木ヒルズ森タワー37階
FCレジデンシャル投資法人
代表者名　執行役員　金子　幸司
（コード番号：8975）
投資信託委託業者名
東京都港区六本木六丁目10番1号
ファンドクリエーション不動産投信株式会社
代表者名　代表取締役　金子　幸司
問合せ先　取締役投資管理部長　村上　隆二
TEL. 03-5413-5348

# 大量保有報告書に関するお知らせ

今般、FC レジデンシャル投資法人（以下「本投資法人」といいます。）に対する大量保有報告書が本日現在までに以下のとおり提出されましたので、お知らせいたします。大量保有報告書は、証券取引法に基づき、発行済投資口の総数に対し 5%超の投資口を保有することとなった投資家に提出が義務付けられています。

記

| 提出日 | 提出者 | 保有投資口 | 保有割合 |
|---|---|---|---|
| 平成 19 年 1 月 10 日 | Prospect Asset Management, Inc. | 10,621 口 | 32.48% |
| 平成 19 年 1 月 11 日 | JPE Capital Management Limited | 3,143 口 ① | 9.61% |
| 平成 19 年 1 月 18 日 | 日興アセットマネジメント株式会社 | 2,433 口 ② | 7.44% |
| 平成 19 年 4 月 20 日 | Prospect Asset Management, Inc. | 10,960 口 ③ | 33.52% |
| 上記三者合計 | | 16,536 口<br>(①+②+③) | 50.57% |

(注 1)　本投資法人の発行済投資口の総数は 32,700 口です。
(注 2)　日興アセットマネジメント株式会社につきましては、共同保有者日興グローバルラップ株式会社の保有する投資口数(199 口)との合算数値を記載しております。
(注 3)　大量保有報告書につきましては、その保有割合について 1%以上の増減があった場合に変更報告書が提出されるため、各提出者につき提出日以降に 1%未満の増減がある可能性があります。

今般の提出により、上記三者合計の投資口数が 16,536 口となり、発行済投資口の総数に対する割合が 50.57%と 50%を超える水準となっていることが判明し、本投資法人第 3 期の決算期（平成 19 年 4 月期）において税法上の導管性要件を満たさなくなる可能性が出ております。当該要件を満たさない場合、利益の配当の損金算入ができなくなり、本投資法人の税負担が増大する結果、税負担相当額の分配金が減少します。

本投資法人は、上記三者に対し保有投資口の一部売却を依頼しておりますが、上記三者がこれに応じるとの保証はありません。

なお、税法上の導管性要件を満たさなくなったことが判明した場合には、直ちに 1 口当たり分配金予想等の修正を開示いたします。

＜参考＞

⑴税制上の導管性について

税法上、一定の要件（以下「導管性要件」といいます。）を満たした投資法人に対しては、投資法人と投資主との二重課税を排除するため、金銭の分配のうち利益の配当から成る部分の金額を投資法人の損金に算入することが認められております。導管性要件の一つである同族会社要件とは、事業年度終了時に同族会社に該当していないこと（発行済投資口の総数が上位 3 位以内の投資主グループによって 50%を超える投資口を保有されていないこと）とする要件です。

⑵本投資法人第 2 期（平成 18 年 10 月期）の法定実効税率は 39.39%でした。

⑶平成 18 年 12 月 19 日付決算短信記載の本投資法人第 3 期（平成 19 年 4 月期）の 1 口当たり分配金予想は 10,018 円です。

以　上

※　本資料の配布先：兜クラブ、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会
※　本投資法人のホームページアドレス：http://www.fcric.co.jp